

オーディオ実験室収載

USB ダンパーの導入(13)

—電源への適用—

1. 始めに

前報(11)までは、主として信号ラインへの適用でしたが、今回は電源部に適用してみます。

2. USB ダンパーの試聴計画

1) アナログ再生

ヴォリュームアキュライザーの活用(15)と(16)に引き続いで下記電源部への USP ダンパーの適用を実施しました。ヴォリュームアキュライザーの適用と試聴アナログ音源はヴォリュームアキュライザーの活用(15)と同じです。

ZANDEN Model 120 別躯体電源部



2) 47 研 4716 信楽による CD 再生

ヴォリュームアキュライザーの活用(17)に引き続いで下記電源部への USP ダンパーの適用を実施しました。ヴォリュームアキュライザーの適用と試聴 CD 音源はヴォリュームアキュライザーの活用(17)と同じです。



GPS-777



DAC-1



CCV-5

3) BPODCH ストリーミング再生

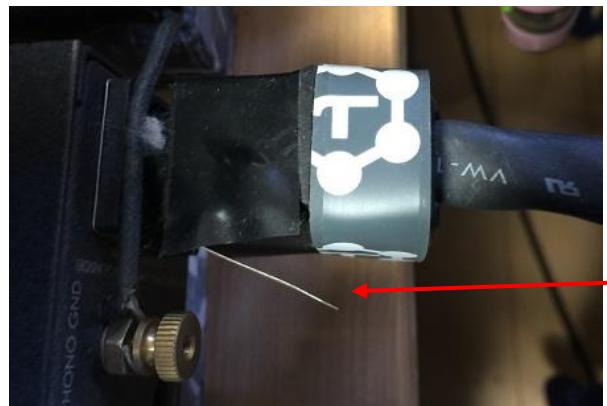
ヴォリュームアキュライザーの活用(17)に引き続いで下記電源部への USP ダンパーの適用を実施しました。ヴォリュームアキュライザーの適用と試聴した BPODCH ストリーミング音源はヴォリュームアキュライザーの活用(17)と同じです。なお、電源ケーブルはすべてパワーリベラメンテに交換しています。



Sonica DAC



TASCAM DA-3000



Brooklyn DAC+

USB ダンパー
電源差し込みが横向き

3. USB ダンパーの試聴結果

アナログ再生において ZANDEN Model 120 別躯体電源部への USP ダンパーの適用は、ヴォリュームアキュライザーの活用(15)におけるヴォリュームアキュライザーの効果があまりに顕著で、それ以上の効果を認めることは困難でした。なお、Model 120 別躯体電源部の差し込み口は非常にタイトでガタがあまりありません。47 研 4716 信楽による CD 再生では、GPS-777、DAC-1、CCV-5 の電源部への USP ダンパーの適用は、併せて 3 ケ所の同時使用の効果をみるわけです。それぞれの差し込み口はかなりタイトで効果は期待できないではなかいと思われましたが、さすがに 3 ケ所の同時使用で、チェロソナタは、チェロの一音一音がくつきりとし、ピアノも打鍵の様子が明瞭になり、無伴奏パルティータは、おだやかな表情から緊張感あふれるボウイングに変わりますし、ピアノソナタは音の芯がしっかりと

して滲みがなくなります。

BPODCH 等ストリーミング再生における、Sonica DAC、TASCAM DA-3000 および Brooklyn DAC+電源部への USP ダンパーの適用は、すでにウォリュームアキュライザーの活用(16)で VRA-7 の十分な効果を認めていますので、さらなる USB ダンパーの効果は期待できないのではないかと考えておりましたが、マーラーの 3 番もワルキューレも、適用前の迫力を大きく超えることはありませんが、大編成オーケストラの音の分離と少し尖った表現が和らいだところなど、3 ケ所の適用でバランスがよくなる変化を認めることができました。

4. まとめ

すでに VRA-7 の十分な効果を認めた上で USB ダンパーの追加ですが、CD 再生と BPODCH の再生において、それぞれ 3 か所の適用併せての効果を認めました。

以上